

第2学年 道徳学習指導案

日立市立多賀中学校

1 主題名 「感動する心」を見つめよう 内容項目 D-(21) 感動、畏敬の念

2 ねらいと資料名

(1) ねらい

天文学者の大内正己さんの宇宙との出会いについて書かれた文章を読み、感動体験が人に与える力を知るとともに、自然や崇高なものに対して感動する心を大切にして生きようとする心情を育てる。

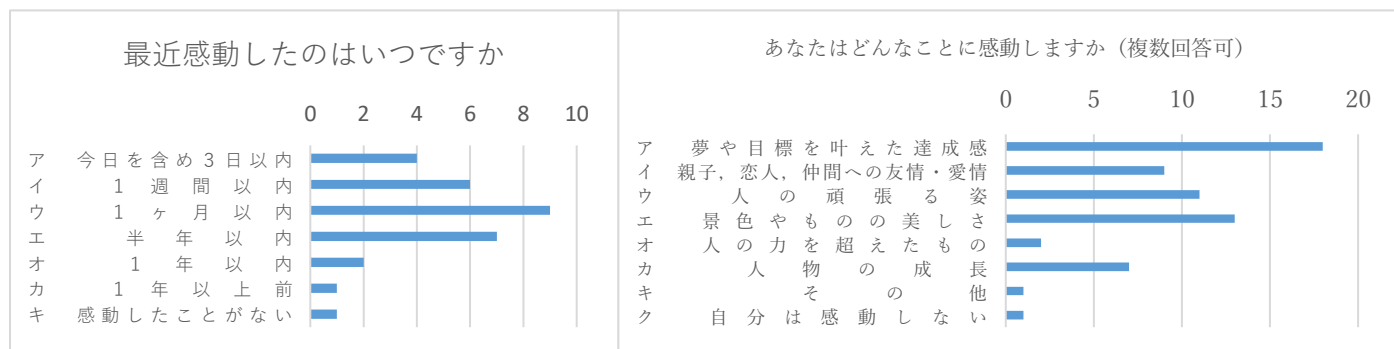
(2) 資料名 「宇宙の始まりに思いを寄せて」(光村図書2年)

3 主題設定の理由

中学生として学年が上がるにつれて、美的な情操が豊かになり、感動する心が育つと言われている。しかし、その反面、独善的になり素直に感動することに抵抗を覚える生徒も増える。自然や人間の力を超えたものとの関わりを多面的・多角的に捉えさせ、有限な人間の力を超えたものを謙虚に受け止める心を育てたい。

4 目指す力が育つ過程(生徒観・指導観・教材観)

(1) 生徒観



事前アンケートによると、個人差はあるが、感動を日常の中で体験している生徒が多いことが分かった。また、本単元で扱う「人の力を超えたもの」に対し、感動すると答えた生徒はほとんどいなかった。

(2) 指導観

天文学者の大内正己さんの宇宙との出会いについての文章を読み、人間の力を超えたものに感動する心の大切さに気付かせたい。また、感動体験が人に与える力について考えを深められるようにしたい。

(3) 教材観

本教材は、地球から130億光年離れた天体「ヒミコ」を発見した天文学者が、発見時の様子や、宇宙に興味をもったきっかけとなった小学生時の感動体験について紹介した教材である。筆者は「感動するという感覚は、私が生きていくうえで、大切な原動力となり続けている。」と語る。こうした筆者の言葉や、生徒自身の感動体験から、感動する心について深く考えさせたい。

5 本時の学習指導

(1) 目標

天文学者の大内正己さんの宇宙との出会いについて書かれた文章を読み、感動体験が人に与える力を知り、自然や崇高なものに対して感動する心を大切にして生きようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

教師：P C、プロジェクター、生徒：教科書、ポートフォリオ（ノート）

(3) 展開 ◎課題研のテーマ（授業力）に迫る手立て

	学習内容・活動	指導上の留意点、評価
△導入 10分▽	1 「ヒミコ」の想像図を見て感想を出し合う。 ・いったいなんだろう ・これは微生物かな 2 本時のテーマを知る。 「感動する心」を見つめよう 3 過去に感動したのはどんな体験か、その理由は何かを話し合う。 ・映画を見て友情に心を打たれた ・念願のプロ野球を東京ドームで観られた	◎教科書を閉じた状態で「ヒミコ」の想像図を見せる。また、教科書を読み進めないよう話しておくことで、この先どんな学習を行うか期待を持たせる。【ワクワク】 ・家族愛や友情など、感動につながる様々な内容が出るのが予想されるが、何かに対して「感動する心」の素晴らしさや大切さについて考えて行く時間であることを伝える。
△展開 35分▽	4 「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで話し合う。 ①「ヒミコ」についての説明を聞き、大きさや距離、歴史について理解する。 ②A～Cの場面で筆者の心がどのように動いたのかを考える。 A 小学1年生のときに地球誕生の本を読み、涙が止まらなかったとき B 草木を見て心を揺さぶられたとき C ヒミコを発見して叫んだとき ③「感動は人にどんな力を与えるだろうか」について話し合う。(個人→グループ→全体)	・映像を見たり地球や太陽と比較したりすることで現実感のない大きさや距離などについて理解しやすいようにする。 ・「ヒミコ」が想像をはるかに越えた存在であることを実感できるようにする。 ・当時の筆者の状況を理解させ、筆者の心情に寄り添って考えられるようにする。 ・ここで感動体験が、人が変わったり人を突き動かしたりするきっかけになることを感じさせたい。 ◎しっかりと時間を確保することで全員が自分の考えをもってグループ活動に臨めるようにする。【自分でできた】 ◎各班の発表を共感的に聞くことで、自分になかった考えや、ものごとの新たな面に気づくことができるようにする。【確かな学力】
△終末 5分▽	5 教師の説話を聞く。 6 「感動する心」について考えたことをまとめる。 ・感動する体験は自分を変えるきっかけになるため、いろんなことに感動できる心をもちたい ・人の力を越えたものは他にもいろいろあると思うので、そういうものに感動できる心を大切にしたい	(評) 感動体験が人に与える力を知り、感動する心の大切さを自分自身との関わりの中で深めようとしている。【ノートの記述】 【目標を達成した生徒の姿】 感動体験が人に与える力を多面的に捉え、何かに感動できる心が自分の中にあることや、感動できる心を大切に生活していきたいと考えている。